

ふるさと所沢に伝わる民俗芸能

次世代に伝える人 受け継ぐ人

所沢に伝わる民俗芸能の多くは、太平洋戦争による中断、青年団などが主体となった復活や継承を経て、現代へと受け継がれてきました。現在、生活様式の変化などもあり、伝承環境は厳しい状況にあります。が、保存継承団体の皆さんは、郷土の文化継承活動を通じて地域の絆をも紡いでいます。新たな年、所沢の歴史とともに受け継がれてきた文化財に親しみ、次の世代へと伝える年にしてみませんか。

国文化財保護課 ☎29908-9253 図2998-9128



ところざわまつり (10月13日)

所沢生まれの重松流祭ばやし

13歳のときに終戦を迎え、翌年、戦争で途絶えていた町内獅子連に入会しました。当時は娯楽がなく素人芸が盛んで、私も青年団に入り、人形劇団「どんぐり座」で活動していました。若いころは、知らない曲や踊りを習いに、どこへでも出かけました。録音や録画がなかった時代でしたから、師匠に曲を一つずつ教わっては、忘れないよう笛を吹きながら夜道を帰る、何度も通いました。繰り返し体で覚えたことは忘れません。今は映像を見ながら、楽に技術をまねできますが、自己流になって直らない人が多いと感じます。平成元年に所沢小学校お囃子クラブが結成され、私も5年目から指導者として、20年になります。結成当時の子どもたちも今では30歳代となり、御幸町獅子連のメンバーになった人もいて、

岩崎獅子舞

旧岩崎村を知行した地頭(旗本の宇佐美助右衛門長元が、慶長19年(1614)の大坂冬の陣に出陣し戦功を立て、その帰途に京都で3頭の獅子頭を買求め、獅子舞の師匠を連れて来て、村の若者たちに稽古をさせたのが始まりと伝わります。平成26年は、起源伝承400年の年です。

3人の舞い手がそれぞれ頭上に獅子頭をかぶり、腹に太鼓をくりつけて、これを撥で打ちながら、笛と鼈の首に合わせて舞い踊る、1人立ちの3頭の獅子舞です。

山口の岩崎地区に伝承されており、毎年10月の第2土曜日に瑞岩寺境内でご覧いただけます。



伝承400年 岩崎獅子舞 (10月12日) 撮影: 市民カメラマン・木村清貴

重松流祭ばやし

所沢市指定無形民俗文化財

所沢に生まれた古谷重松が編み出した獅子の流派で、重松流の「じゅうま」は重松の愛称です。幕末から明治期以降、所沢を中心として多摩地域にかけて広まりました。古谷重松は行商のために近郷近在を歩き、その先で獅子を伝授したといわれています。

伝える人

重松流祭獅子保存会・内堀金造さん



▲笛の名人内堀さん

24年の「重松流祭獅子競技会」優勝チームの笛とツケ(小太鼓)と踊りはクラブの卒業生で、みんな女性です。もう少したった、母親になったこの卒業生たちが、自分の子どもを連れて一緒に重松流に参加してくれるのを楽しみにしているところです。

受け継ぐ人

岩崎獅子舞と私の出会いは、岩崎地区に引越してきた幼稚園のころで、練習に参加したのは、泉小学校に入ってからです。小学1年生から3年生にササッコ(獅子)、4年生から6年生に棒使いを習い、中学1年生から獅子舞の練習を始め、高校1年生の昨年、初めて瑞岩寺で獅子を舞いました。鼈のリズムと太鼓の打ち方は一緒に練習の中で自然と身についたように感じます。

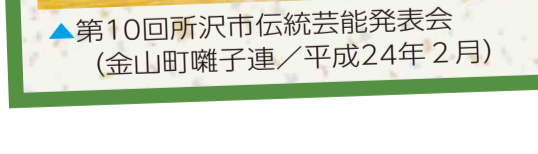


▲雌獅子の獅子頭と神山さん

体感しませんか

第11回所沢市伝統芸能発表会

- 岩崎獅子舞と重松流祭ばやしを同時に鑑賞できる2年に1度の機会です。ぜひ、ご来場ください。
- 日時 2月23日(日)午後0時45分〜3時30分/所沢市民文化センター ミュースホール
- 会場へ直接お越しください。
- 出演団体
 - 岩崎獅子舞保存会
 - 重松流祭獅子保存会
 - 荒幡獅子連
 - 寿町獅子連
 - 山崎獅子連
 - 有楽町獅子連
 - 宮本町獅子連
 - 保存会青年部
 - 所沢小学校お囃子クラブ



▲第10回所沢市伝統芸能発表会 (金山町獅子連/平成24年2月)

市内の祭ばやしは、重松流の他にも寿々木(鈴木)流や神田流の流派が伝承されています。

久米に伝わる 寿々木(鈴木)流

明治初期に清水(東大和市)の半次が、奉公先の高円寺から郷土に持ち帰り、この半次から久米の下田太郎が中心となって獅子を習ったといわれます。

小平市鈴木新田の系統で居獅子向きといわれています。里神楽や面芝居の影響を受けた「若見重太郎」「玉取姫」「狐釣り」など、山車の上では演じることでできない劇が大正初期まで伝承され、八幡神社の拝殿などで演じられていました。

「久米獅子連」の皆さんによって保存伝承されています。

南永井に伝わる 神田流

明治20年ごろ、木村仲右衛門が中心となって、太鼓を購入して獅子を始めましたといわれます。獅子は竹間沢(三芳町)の獅子連から、踊りは水子(富士見市)の獅子連から習ったと伝わります。

オカカン(太太鼓)・ツケ(小太鼓)による獅子に合わせて、おかめ・ばか面・天狐・獅子が踊ります。間口一間半・奥行二間の囃子棚(明治期の丸太組のもの)をかけて演じます。

東光寺の金毘羅様や「戦国滝の城まつり」などご覧いただけます。

「南永井獅子連」の皆さんによって、保存伝承されています。